
～ 小春日和 ～

時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

～小春日和～

【Nコード】

N4302B

【作者名】

時雨

【あらすじ】

幼なじみの伊月と、また同じクラスに！？でも、いつも会う伊月にいつしか引かれていき…？

第一話…またコイツ!?

「ジリリリリリリ…」 「ん…なに…?」

ポチ…………

スヤスヤ…………

「あかり…遅刻するわよ」

…………

「ああ……!!」

二度寝なんかしてる場合じゃないよお!!

どうしょ!!今日は始業式なのに!

「お母さん!なんでもっと早く起こしてくれないの!」

「あかりが起きなかつただけでしょうが!早くご飯食べなさい!」

「いいよ!急いでるから、ご飯いらない!!」「もお………」

「行つてきます!!」

「はい!いつてらっしやい!!」

…クラス…誰と同じかなあ……?

「おはよ!和海!美月!」

「おはよ」

「クラス…誰と一緒に?」

「私達は一緒だけど…あかりは…」 「あたしは…?」

離れちゃつた…」

「……そつかあ…残念…」

「これ見てよ!」

「どれどれ…」

げっ!また伊月と……

「よっ!あかりっ!」

噂したら来たよ……

「なあに?」

「また一緒だな!!」

「だね…」

「おっと！お二人の邪魔なようですねえ…」

「ちょ…和海！美月？」

「どうぞここからは、二人でラブラブしてくださいね」

「そんなんじゃないよ！！大体俺がこんなブスとラブラブな訳ないだろ！？」「ちょ…！ブスって何よ！！」

「…少し傷つくな…」キーンコーン…

「あつ！やば！！あたしは2 - 4組だ！」

「……」

「みんな！今日から担当の赤坂みつるだ！よろしくな！！」

「…はりきってるなあ……」

「まずは…教科書を配るぞ！！」

「……」

第二話…初めての気持ち

「なあ…あかり…？」

突然伊月が話しかけた…

「何？」

…

「さつきは…言い過ぎた…ごめん…」

「別に…いいけど…」

「そっか！ならよかったー！」

…空気読めよ…「ちよつとは傷ついたけど…」

…

「そっか…ごめんな…」

…ドキッ…あれ…なんで今ドキッて来たんだ？「どうかしたか

…？」

…

「あつ！うつん！なんでもないよ！」

「ならいんだけど…」

…どうしちゃったんだろ…私…

それから、伊月としゃべると、ドキドキしてた…なんで…？私

…もしかして伊月が！？…そんなはずないよ…伊月はただの幼

なじみ…ありえないよ…お姉ちゃんに相談しよ…

「ただいまあ！」

…

「お帰り〜」

「あつ！お姉ちゃん！聞きたい事があるんだけど…」

「なあに？」「恋つて、ドキドキするもんなの…？」

「…うつん…人によるよお〜」

「そっかあ…」

…

「何？あかりちゃん…もしかして、好きな人が！？」

…
「ちっ、違うよお姉ちゃん！…ただ聞いてみただけ…」

…
「あらそう…つまんないのっ」

「…お風呂入ってくる…」「ふう…」

…
チャポン…

「お姉ちゃんって…恋愛マスターなのかな…？」

「伊月は…今何してるのかなあ…」

…
！わたし何考えてんの！？…

伊月はただの幼なじみなのに……なんか…明日会っのが気まづくな
ってきちゃった……でも…たしか…あずさが…伊月の事好きだっ
たような…伊月は…私やあずさの事…どう思ってるんだろ…？

第三話…すれちがう気持ち

「おはよ！あかり！」

「…わっ！何よ！びっくりするでしょー！」

「何怒ってるんだよ！」

…別に怒ってないのにー！

「もういいよ！話かけただけなのに…」

…どうしよ…悪い事言っちゃった…どうしよっ…

「伊月！おはよ！」

…

「おーあずさ！おはよー！」

…あずさ…伊月としゃべってる…いいな…

謝ろっ…伊月に…

「ねえ…伊月…さっきは朝から機嫌悪くてごめんね…」

…

「別に…気にしてないし…」

「うそだ！本当は気にしてるでしょー！」

…

「気にしてねえって言ってるだろ！」

…

「わかった…」

…

「…ごめん…言い過ぎた…」

ダダッ…

「おい！あかりー！」

…ぐすん…

「ただいま…」

「お帰り…あかり？どうかした？」

「別に…なんでもないよ…」

「嘘だ〜！お姉ちゃんに話してごらん？」

…

「うん…実はさあ…伊月にひどい事言われて…」

「そんな事ですくてんの!？」

「そんな事ってなによ!!」

「伊月君…好きなんですよ…?」

…
「どうしてわかるの…」

「あかり…好きなら好きって言えば？」

…

「でも…あずさも、伊月の事が好きなんだよ!?!?…」

…

「恋にライバルは付き物よっ!」

…

「……………」

「自分の気持ち…伊月君に伝えたら？」

「うん……………」

「手紙?それとも直接??」

…

「直接伝える……………」

「頑張つてね お姉ちゃん応援してるよ!」

「ありがとう……………」

…
「うまく言えるかな…………?」

…
「プルルルル……………」

「はい!三枝ですけど!どちらさまですか?」

最終話……大好き

「もしもし？あずさ？」

「あつ！あかり〜！どうしたの？こんな時間に？」

「実は私…明日伊月に告ろうと思うんだ…」

「そっか！頑張って」

「なんで…？あずさも伊月が好きなんじゃないの？」

「あたしは…伊月君を好きになれないなあ…」

「どうして…？」

……

「だって…伊月君…しゃべるとあかりの事ばかり話すんだもん」

「私！？」

「多分…伊月君もあかりが好きなんじゃないかな？」

……あれ…涙でてきた……

「そ、そっか…ありがと！じゃあまた明日ね！じゃあね！」

「うん バイバイ！」

……伊月が私の事考えてくれてたなんて……うれしいよ……

……

「おはよ！和海！美月！」

「おはよ！…！」

「よっ！あかり」

「おはよ 伊月！そういえば、後で話があるんだ！」

「わかった！」

……

「伊月〜ちよつと来て〜」

「なんだ？話って？」

「あのさ…前から気になってたんだ…伊月の事…」

……

「俺を……？」

「うん……」

「……ごめん……」

「いいんだよ！気持ち伝えたかったただだから！……」

「ちがうよ……」

「え？……」

「本当は……俺がお前に告ろうと思ったんだけど……」

……

「え……？」

「俺も……お前が好きだよ……」

……

「ありがとう……」

「……涙が止まらないよ……」

「泣くなよ！嬉しんじゃねえのかよ！……」

……

「大好きだよ……」

「俺も……」

……

「もう帰らなきゃ……」

「そうだな……一緒に帰ろうぜ……」

「うん……」

……

「伊月が『俺も好き』って言うてくれた時……すごく嬉しかった……」

……

「……なんか照れるな……」

……

「大好きだよ……伊月……」

「俺もだよ……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4302b/>

～ 小春日和 ～

2010年12月31日00時36分発行